

平成18年9月19日

## 瓦止めボンド 技術情報

### ■瓦止めボンド

瓦止めボンドは、瓦が台風や地震によりずれたり落ちたりするのを防止することを目的とした充てん接着剤です。新規に瓦を葺く場合と既存の瓦屋根を補強する場合には若干施工法が違いますのでご注意ください。又、防水性能は瓦の種類、施工方法、下地の調整法によって大きく影響されるので、各瓦の施行要領書や瓦屋根に関する参考書等を参考にして施工下さるようお願い申し上げます。

### ■瓦止めボンド一般性状

項目	シャープシールス	備考
外観	銀黒色ペースト	
比重	1.03	比重カップ
スランプ	0mm	
タックフリータイム	20分	25℃
100%モジュラス	50N/cm <sup>2</sup>	
最大引張強度	130N/cm <sup>2</sup>	
硬度	27	ショアーA

### ■一般的施工方法

既存の屋根に施工する場合

- ① 既設の屋根は大変汚れている場合があり、良くホコリや汚れを取り除き、乾燥させて下さい。
- ② 縦の辺半分くらいと横の辺の三分の一くらいの長さに施工します。全辺に施工すると建物の通気性を損ないますのでご注意ください。また、水の通り道をふさがないようにしてください。
- ③ へらで軽くならすと密着性がよくなり防水性能や強度が向上します。
- ④ 約20から30分で表面から硬化し、

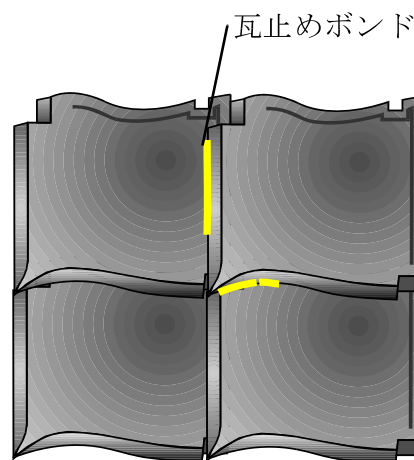


図1 既設の屋根の補強

1から2日で完全に硬化します。硬化前に瓦を動かしたり衝撃・振動を与えないようにして下さい。

#### ■新設の瓦屋根の場合

- ① 瓦の汚れ、ホコリを取り除き、乾燥させてからご使用下さい。
- ② 瓦の縦辺に瓦止めボンドを図2のように施工し、瓦を重ねる。この際、水の通り道をふさがないようにして下さい。
- ③ はみ出した部分はへら等で取ればよりきれいな仕上がりになります。

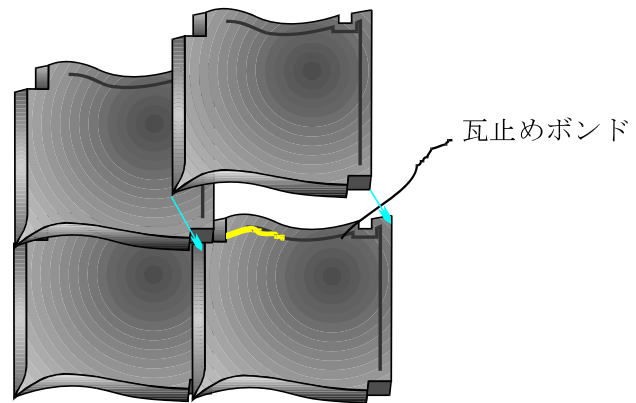


図2. 新設の瓦屋根の場合

以上の施工方法は、弊社が標準と考える方法ではありますが、瓦の施工法は瓦の産地やメーカーによっても異なりますので、それらの施工法に原則として従って下さい。

#### ■注意事項

- ・ 開封後は、最後までお使い下さい。
- ・ 本品は乾燥した、冷暗所に保管して下さい。又、子供の手に届くところに放置しないで下さい。

お問い合わせは、



〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町13-12  
TEL:072-268-0321 FAX:072-268-0326